

[特集]

脳・神経・筋疾患を 想起する

問診・視診でここまでわかる!

企画：井口保之

[Chapter 1]

神経診察へのいざない

- | | | |
|-----|----------------------|-----------|
| 162 | まず神経疾患かもしれない，と想起するには | 江口克紀・矢部一郎 |
| 168 | 日常診療で機能性神経障害を想起するために | 下畑享良 |

[Chapter 2]

意識，高次脳機能，自律神経

- | | | |
|-----|-----------------------------|------------|
| 172 | 意識障害 | 藤本 茂 |
| 177 | 失神 | 尾崎雄一 ほか |
| 183 | 構音障害 | 前田哲也 |
| 188 | 失語，高次脳機能障害(無視，失行など) | 大槻美佳 |
| 195 | 物忘れ | 坂下泰浩・小野賢二郎 |
| 200 | 睡眠障害 | 鈴木圭輔 ほか |
| 206 | 膀胱直腸障害
問診・視診から緊急性と病態を見抜く | 中島一郎 |

[Chapter 3]

脳神経

- | | | |
|-----|------|---------|
| 209 | 眼瞼下垂 | 村井弘之 |
| 213 | 複視 | 稲葉 亮 ほか |
| 216 | めまい | 城倉 健 |
| 224 | 嚥下障害 | 谷口 洋 |

[Chapter 4]

運動

- | | | |
|-----|---------------|---------|
| 229 | 筋力低下(単肢) | 杉江和馬 |
| 234 | 筋力低下(複肢) | 深澤美樹 ほか |
| 240 | 繰り返す脱力(易疲労含む) | 作田健一 |
| 246 | 動作緩慢 | 渡辺宏久 ほか |

252	ふるえ(不随意運動とけいれん)	波田野 琢
258	歩行障害(間歇性跛行, 易転倒含む)	正路大樹・村上秀友
	[Chapter 5]	
	感覚	
263	頭痛(顔面痛含む)	高橋祐二
268	感覚障害(ジンジンするしびれ)(単肢)	大崎裕亮・和泉唯信
272	感覚障害(ジンジンするしびれ)(複肢)	藤井敬之
276	感覚障害(四肢体幹の痛み・筋痛含む)	海田賢一・本郷 悠

[連載]	臨床力向上のための厳選 Q&A 糖尿病・内分泌代謝・電解質の極意		
	第 7 回 骨粗鬆症治療前の必須ポイント	辻本哲郎	281
	医療の不確実性に向き合う		
	不明・複雑・変わりゆく病状, 正解がわからないときにどう対応するか		
	第 17 回 医療の権化, 医療は絶対的正義なのか, そして医療と患者の関わりとは何なのか	徳増一樹	289
	イメージで捉える呼吸器疾患		
	第 40 回 脊髄圧迫症候群「両足が痺れて力が入りません」	皿谷 健	295
	Focus On		
	加熱式タバコなら吸ってもいいですよね?		
	: わかってきた新型タバコの問題点	村松弘康	301
[投稿]	症例		
	大動脈弁に付着した乳頭状弾性線維腫により脳梗塞を繰り返した 1 例	増田憲保	307
[記事]	最新の臨床 WEB ~臨床雑誌「内科」出張版~		
	パーキンソン病		245
[書評]	高齢者のがん薬物療法ガイドライン(改訂第 2 版)	秋下雅弘	167
	腎疾患・透析最新の治療 2026-2028	和田隆志	239
	新刊書案内 262		
	寄稿規定 311		
	読者アンケート 313		
	バックナンバーのご案内 314		
	バックナンバー購入申込書/購読のご案内 316		
	次号特集予告 317		
	編集手帳 318		

著者ならびに出版社は、本誌に記載されている内容について最新かつ正確であるよう最善の努力をしております。しかし、臨床検査、薬剤の情報、および治療法などは、医学の進歩や新しい知見により変わる場合があります。また、誌面の都合上、一部解説を省略させていただいている箇所もございます。実際の診療にあたっては、最新の添付文書などの情報を併せてご参照くださいますようお願いいたします。